

横浜市立洋光台第三小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| | |
|---|---|
| 学校教育目標 みんなかがやけ 洋三の子 ～認め合い 高め合い すすんで未来をつくる子を育てます～ | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 自分づくりに関する力 |
|---|---|

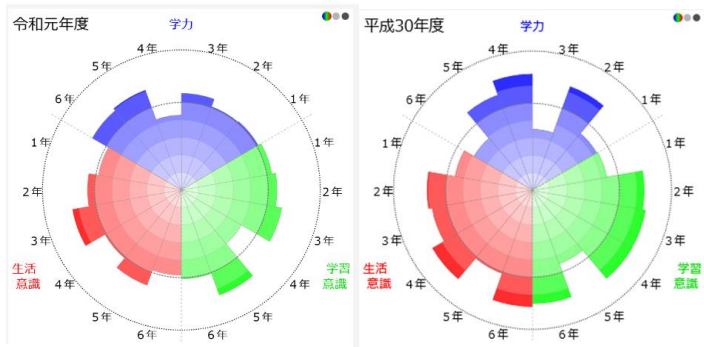
(2) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|---|
| ○様々な教育活動を通して、自他を大切にし、互いを認め合い、高め合おうとする心情や態度を育てます。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・自分の心や体の健康に関心をもち、よりよい生活習慣を心がけ、進んで身体を動かせるようにします。 ・教育活動の充実と、安心・安全な学校生活のため、保護者や地域・中学校ブロック間の連携を強め、信頼される学校づくりを目指します。 |

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|------------------------|---|
| 生きて はたらく知 | 学びの基礎基本や知識・技能を身に付け、それらを活用して思考・判断・表現ができるようにしていく。様々なことに興味関心をもち、粘り強く、自らの学習を調整する力を身に付けていく。重点研究を通して、児童一人ひとりが自分で課題を見つけ、解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿を目指す。 |
| 担当 学年・ブロック研究会 重点研究会 | |

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

昨年度は、学力・学習状況調査を実施していないので、前年度を踏まえての分析となるが、学力については学年により市の平均を上回る学年と下回る学年がある。少人数指導や個に応じた指導を行っていることで、学力が向上しているように思われる。今後もきめ細やかな指導を図り、意欲を高め、学力向上のために授業を工夫していく必要がある。

(2) 教科学習の状況 (昨年度までの状況)

- 国語科：基礎は市平均を上回り、活用が市平均を下回っている。学習意欲はやや高い。
- 算数科：基礎・活用ともに、概ね市平均を上回っている。学習意欲は高い。
- 社会科：基礎・活用ともに、市平均をやや上回るが、学習意欲はやや低い。
- 理科：基礎・活用ともに、市平均を上回るが、学習意欲は低い。

(3) 経年変化の状況と要因の分析 (学習・生活意識調査も含めて分析)

学習結果において、学年によってばらつきが見られた。これまでの傾向から、同じ学年が同じ傾向にあるのが分かる。この点においては、これまで同様、個を丁寧に見取ってそれぞれに合った指導をしていく必要がある。また、ほぼすべての教科で市の平均を上回っているが、学習意識がこれまで低かった。意欲を低下させないためにも、子どもたちが、楽しみながら授業に参加できるように授業を工夫しながら組み立てていく必要がある。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

| | 育成を目指す 具体化した資質・能力 | 具体的取組 | |
|--------|--|--|---|
| | | 前期 | 後期 |
| 1年 | 興味をもって取り組もうとする 【好奇心・観察力】 友達と関わる【協力】 ルールやマナーを守る 【基本的な生活習慣】 あいさつがしっかりとできる【地域】 自分の考えをもち、伝える【主体性】 | ○体験的な活動や学習を大切にし、自分の考えをもったり伝えたりすることができるように授業展開を工夫する。 ○自分の考えや思いを言葉で伝えることができるように、話型を提示し、安心して表現できるようにする。 | ○体験的な活動や学習を大切にし、自分の考えをもったり伝えたりすることができるように授業展開を工夫する。 ○自分の考えや思いを分かりやすく伝えるために、順序やまとまりを工夫して表現できるようにする。 |
| | | ○体験的な活動を通して学びを大切にし、自分の感じたことや思ったことを相手に伝えるように、事柄の順序を考えて話したり書いたりできるような授業展開の工夫をする。 ○2～3人の小グループでの活動を意図的に取り入れ、自分の考えを伝えるよさを味わえるようにする。 | ○体験的な活動を通して学びを大切にし、相手の伝えたい大事なことを落とさないように聞き、質問したり感想を述べたりできるような授業展開の工夫をする。 ○2～3人の小グループでの活動を続けることで、友達と学び合うよさに気づくようにする。 |
| 3年 | 友達と力を一つにし、課題を解決する【協働的】 自分で考え、判断し、表現する【自分らしさ】 積極的に関わろうとする【積極性】 自ら問いを見出し、解決する【課題対応】 多様性を認める【他者理解】 話を聴いて、生かそうとする【考えの深化】 親や周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ【つながり】 役割・責任を果たす【リーダー性】 | ○積極的に関わることができるように体験的な活動を取り入れ、実感を得られるようにする。 ○自分の意見をもつとともに、友達の意見も聞きながら力を合わせて課題解決できるように、ペアやグループでの活動を意図的に取り入れる。 | ○体験的な活動を通して分かったことや考えたことを自分らしく表現し、友達と伝え合う活動を大切にする。 ○友達の意見との共通点や相違点を比べることで、自分の考えを深めることができるようにする。 |
| | | ○体験的な活動を通して、実感を伴う中で自ら課題を見出し、意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○互いの考えや物事についての共通点や相違点を比べて、見方を広げる学習を意図的に位置づける。 | ○分かったことや考えたことを、筋道立てて説明する文章を書いたり、大事なことを落とさず伝え合ったりして、表現活動を大切にする。 ○様々な学習活動を通して、自分たちを支えてくれる人の存在に気づき、そこにある思いを理解していけるようにする。また、感謝の気持ちを伝えていく方法を考えたり実行したりする。 |
| 4年 | 役割・責任を果たす【リーダー性】 取捨選択する【情報活用・選択】 自他のよさを認める【自己肯定感・他者理解】 先を見通し、判断する【生活に生かす】 根拠をもって、論理的に判断する【意思決定】 コミュニケーション能力【協調性】 まちの一員として考え、参加する【地域貢献・社会参画】 | ○体験的な活動を通して、自ら課題を見出し、先の見通しをもって意欲的に学習に取り組めるようにする。 ○話し合い活動を通して、意図に応じて互いの考えを比較し、共通点や相違点を整理する。 | ○友達と伝え合う表現活動を大切にし、自他のよさを認め合う。 ○話し合い活動を通して、互いの考えを比較して共通点や相違点を整理し、共感した内容を取り出し自分の考えをまとめる。 |
| | | ○話し合い活動を通して、友達の意見をよく聞き、そこから考えを深めて自分の考えを比較・検討する力を育む。 ○学習を通して、多面的に捉え、よりよいものを求めて粘り強く考える態度、学習したことを生活に活用しようとする態度を育む。 | ○様々な活動を通して、多様性を尊重する態度を養い、互いのよさを活かして協働的に行動する力をつける。 ○大事なことを落とさず聞いたり、伝え合ったりして、表現活動を大切にし、自他のよさを認め合う。 |
| 5年 | ルールやマナーを守る【基本的な生活習慣】 あいさつがしっかりとできる【地域】 自分の考えをもち、伝える【主体性】 積極的に関わろうとする【積極性】 | ○生活習慣を身に付けるために、一人ひとりの実態に合わせた活動内容を取り入れていく。 ○学習の中で、同じ活動を繰り返す行うことで安心して取り組めるようにする。また、それぞれの興味・関心を大切に、そこから広げた具体的・体験的な学習内容を考えていく。 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。 | ○状況に応じて、これまでの経験を生かしながら、自分の生活に役立てることができる活動を取り入れていく。 ○学習の中で、感じたことや考えたことを教師や友達と共有し、意欲的に取り組もうとする環境づくり、授業づくりをしていく。 ○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。 |
| | | | |
| 個別支援学級 | | | |